



平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日

上場会社名 三共生興株式会社

上場取引所 東証一部・大証一部

コード番号 8018

URL <http://www.sankyoseiko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三 木 秀 夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 長 澤 和 之

社長室ゼネラルマネージャー 下 川 浩 一

TEL (06) 6268-5188

四半期報告書提出予定日 平成21年8月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績 (平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
22年3月期第1四半期	7,284 △23.9	△27 —	82 △66.5	△151 —
21年3月期第1四半期	9,572 —	61 —	245 —	40 —

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△3 33	— —
21年3月期第1四半期	0 84	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	51,197	20,474	39.3	444 72
21年3月期	51,384	19,693	37.6	402 21

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 20,129百万円 21年3月期 19,343百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	年 間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	— —	— —	— —	12 50	12 50
22年3月期	— —	— —	— —	— —	— —
22年3月期 (予想)	— —	— —	— —	12 50	12 50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
第2四半期連結累計期間	18,000△15.8	△250 —	△180 —	0 —	— —
通 期	40,000△6.6	950 37.8	1,050 54.4	700 —	15 46

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
[除外1社（㈱サン プロシード）]
[(注) 詳細は、5 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
[(注) 詳細は、5 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
- ① 会計基準等の改正に伴う変更： 無
- ② ①以外の変更： 無
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- | | | |
|----------------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 22年3月期第1四半期 | 60,000,000株 |
| | 21年3月期 | 60,000,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第1四半期 | 14,736,352株 |
| | 21年3月期 | 11,907,048株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間） | 22年3月期第1四半期 | 45,546,578株 |
| | 21年3月期第1四半期 | 48,093,711株 |

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期（平成 21 年 4 月 1 日から平成 21 年 6 月 30 日まで）におけるわが国経済は、昨年夏以降の世界的な金融危機の影響により世界景気の下振れ懸念がなおも存在しているなかで、企業収益の大幅な落ち込み、生産活動が低い水準にあることから雇用情勢は急速に悪化、個人消費も弱まるなど、極めて厳しい環境で推移いたしました。

当社グループを取り巻く環境におきましても、政府による景気下げ止まりの判断や株価の回復などにより、一部には改善傾向を示し始めたものの、失業率の上昇や所得の減少から生活防衛意識は依然強く、主力の衣料品や高額品を中心に売上不振が続く厳しい商況となっております。また、5 月中旬以降は新型インフルエンザの国内感染が発生した影響で、販売先である百貨店への来店客数が極端に減少するなど、売上減少の要因となりました。

このような環境のなかで、当社グループは、収益構造の基盤強化を図るため「選択と集中」による「利益重視」の経営を志向し、在庫の見直し等を行うとともに、諸経費の削減にも取り組んでまいりました。

その結果、当第 1 四半期における連結業績は、売上高は前年同期比 23.9%減の 7,284 百万円、営業損失 27 百万円、経常利益 82 百万円、四半期純損失 151 百万円となり、厳しい環境下において減収減益を余儀なくされましたが、おおむね当初計画どおりに推移いたしました。

なお、事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

ファッション関連事業

「ダックス」「レオナル」などのファッションブランド商品の国内市場においては、在庫の見直しや経費の削減などにより、効率的な事業展開に注力してまいりましたが、百貨店店頭での、特に高額商品の売上不振により、当第 1 四半期においては、売上、利益ともに苦戦いたしました。一方、英国ダックス社においては収益構造となり、また、中国、台湾などのアジア市場では、店頭での売上は比較的順調に推移しております。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比 25.9%減の 3,182 百万円、営業損失は 40 百万円となりました。

繊維関連事業

繊維衣料品の OEM 事業は、百貨店向けアパレル商品の販売不振の影響が大きく、売上、利益ともに厳しい状況で推移いたしました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比 33.0%減の 1,910 百万円、営業損失は 49 百万円となりました。

生活関連事業

「ダックス」などのブランド商品の販売は、百貨店でのギフト市場の低迷などにより、また、パジャマ、寝装品などの OEM 事業は百貨店販売の低迷の影響を受けて、売上、利益ともに苦戦いたしました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比 13.0%減の 1,886 百万円、営業利益は 4 百万円となりました。

不動産賃貸事業

東京・大阪・神戸等に立地する当社グループ保有の賃貸用ビルを活用した不動産賃貸事業は、おおむね順調に推移いたしました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比 3.1% 増の 632 百万円、営業利益は 276 百万円となりました。

その他の事業

物流倉庫業、ビルメンテナンス業、内装工事業等のその他の事業におきましては、売上高は 350 百万円、営業損失は 26 百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第 1 四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて 3,356 百万円 (17.1%) 減少し、16,269 百万円となりました。これは現金及び預金が 1,280 百万円減少、受取手形及び売掛金が 2,114 百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて 3,169 百万円 (10.0%) 増加し、34,927 百万円となりました。これは投資有価証券が 2,751 百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて 187 百万円 (0.4%) 減少し、51,197 百万円となりました。

(負債)

当第 1 四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて 1,973 百万円 (8.0%) 減少し、22,721 百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が 1,246 百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて 1,005 百万円 (14.4%) 増加し、8,001 百万円となりました。これは繰延税金負債が 1,156 百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて 968 百万円 (3.1%) 減少し、30,723 百万円となりました。

(純資産)

当第 1 四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて 781 百万円 (4.0%) 増加し、20,474 百万円となりました。これは自己株式の取得が 812 百万円、剰余金の配当が 601 百万円あったことなどにより利益剰余金が減少しましたが、その他有価証券評価差額金が 1,685 百万円増加したことなどによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成 21 年 5 月 15 日の決算発表時に公表いたしました、平成 22 年 3 月期の連結業績予想（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）を下記のとおり修正しております。

(1) 平成 22 年 3 月期の第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正

（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 18,000	百万円 △250	百万円 △180	百万円 △350	円 銭 △7 28
今回発表予想(B)	18,000	△250	△180	0	—
増減額(B-A)	—	—	—	350	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	21,371	44	20	△365	△7 60

(2) 平成 22 年 3 月期の通期連結業績予想数値の修正

（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 40,000	百万円 950	百万円 1,050	百万円 380	円 銭 7 90
今回発表予想(B)	40,000	950	1,050	700	15 46
増減額(B-A)	—	—	—	320	—
増減率(%)	—	—	—	84.2	—
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 3 月期)	42,825	689	680	△522	△10 86

修正の理由につきましては、本日発表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

（主要な関係会社の異動）

連結除外：(株)サン プロシード

前期末において当社の連結子会社であった(株)サン プロシードは、平成 21 年 4 月 1 日付で当社の連結子会社である三共生興ファッションサービス(株)に吸収合併され、消滅いたしました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

① 棚卸資産の評価方法

当第 1 四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末に係る実地棚卸高を基礎とした、継続記録による帳簿棚卸高により算定しております。

また、当第 1 四半期連結会計期間末における棚卸資産の評価に関しては、収益性の低下が明らかなものについては正味売却価額を見積り、棚卸資産より一括して控除する方法によっております。

㊤ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,177	6,457
受取手形及び売掛金	5,565	7,679
商品及び製品	4,830	4,609
仕掛品	4	28
原材料及び貯蔵品	325	301
その他	387	576
貸倒引当金	△23	△26
流動資産合計	16,269	19,625
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,410	10,530
土地	3,945	3,945
その他（純額）	908	841
有形固定資産合計	15,264	15,317
無形固定資産		
商標権	4,204	3,688
のれん	49	65
その他	106	112
無形固定資産合計	4,359	3,866
投資その他の資産		
投資有価証券	14,178	11,427
その他	2,072	2,111
貸倒引当金	△947	△964
投資その他の資産合計	15,303	12,574
固定資産合計	34,927	31,758
資産合計	51,197	51,384

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,604	5,850
短期借入金	16,141	16,031
1年内返済予定の長期借入金	359	359
未払法人税等	55	218
未払費用	712	1,043
返品調整引当金	105	369
その他	743	821
流動負債合計	22,721	24,694
固定負債		
長期借入金	1,277	1,367
長期未払金	776	798
繰延税金負債	4,454	3,298
退職給付引当金	558	574
負ののれん	84	112
その他	849	845
固定負債合計	8,001	6,996
負債合計	30,723	31,691
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
資本剰余金	6,165	6,165
利益剰余金	15,233	15,986
自己株式	△5,234	△4,422
株主資本合計	19,164	20,729
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,913	3,228
繰延ヘッジ損益	△36	△108
為替換算調整勘定	△3,912	△4,506
評価・換算差額等合計	964	△1,386
少数株主持分	344	349
純資産合計	20,474	19,693
負債純資産合計	51,197	51,384

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第 1 四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 6 月 30 日)
売上高	9,572	7,284
売上原価	5,413	4,054
売上総利益	4,159	3,229
販売費及び一般管理費	4,097	3,257
営業利益又は営業損失(△)	61	△27
営業外収益		
受取利息	25	8
受取配当金	197	126
負ののれん償却額	39	28
その他	101	34
営業外収益合計	363	197
営業外費用		
支払利息	114	56
その他	65	30
営業外費用合計	179	87
経常利益	245	82
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1	22
特別利益合計	1	22
特別損失		
投資有価証券評価損	—	30
減損損失	—	9
その他	—	0
特別損失合計	—	39
税金等調整前四半期純利益	246	65
法人税、住民税及び事業税	159	106
法人税等調整額	43	106
法人税等合計	203	213
少数株主利益	3	3
四半期純利益又は四半期純損失(△)	40	△151

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 6 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	246	65
減価償却費	257	221
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△356	△264
受取利息及び受取配当金	△222	△135
支払利息	114	56
売上債権の増減額 (△は増加)	1,115	2,166
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△478	△212
仕入債務の増減額 (△は減少)	△345	△1,267
未払費用の増減額 (△は減少)	△327	△286
その他	△125	△56
小計	△122	287
利息及び配当金の受取額	223	135
利息の支払額	△108	△45
法人税等の支払額	△294	△241
営業活動によるキャッシュ・フロー	△302	135
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△132	△154
その他	△10	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△143	△156
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,297	△124
長期借入金の返済による支出	△89	△89
配当金の支払額	△541	△463
自己株式の取得による支出	—	△812
その他	30	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	697	△1,498
現金及び現金同等物に係る換算差額	△48	240
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	202	△1,279
現金及び現金同等物の期首残高	4,902	6,457
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,105	5,177

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第 1 四半期連結会計期間 (自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 21 年 6 月 30 日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 6 月 30 日)

	ファッション 関連事業 (百万円)	織 維 関連事業 (百万円)	生 活 関連事業 (百万円)	不 動 産 賃 貸 事 業 (百万円)	そ の 他 の 事 業 (百万円)	計 (百万円)	消 去 又 は 全 社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,219	2,641	2,154	446	109	9,572	—	9,572
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	74	210	13	167	213	679	(679)	—
計	4,293	2,852	2,167	613	323	10,251	(679)	9,572
営業利益又は 営業損失(△)	△14	△58	58	270	△17	239	(178)	61

当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 21 年 6 月 30 日)

	ファッション 関連事業 (百万円)	織 維 関連事業 (百万円)	生 活 関連事業 (百万円)	不 動 産 賃 貸 事 業 (百万円)	そ の 他 の 事 業 (百万円)	計 (百万円)	消 去 又 は 全 社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,105	1,707	1,879	468	122	7,284	—	7,284
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	76	202	6	164	227	677	(677)	—
計	3,182	1,910	1,886	632	350	7,962	(677)	7,284
営業利益又は 営業損失(△)	△40	△49	4	276	△26	165	(193)	△27

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 21 年 6 月 30 日)

	資本金 (百万円)	資本剰余金 (百万円)	利益剰余金 (百万円)	自己株式 (百万円)	株主資本 合計 (百万円)
前連結会計年度末残高	3,000	6,165	15,986	△4,422	20,729
当第 1 四半期連結会計期間末までの 変動額					
剰余金の配当			△601		△601
四半期純利益			△151		△151
自己株式の取得 ※				△812	△812
当第 1 四半期連結会計期間末までの 変動額合計	—	—	△752	△812	△1,564
当第 1 四半期連結会計期間末残高	3,000	6,165	15,233	△5,234	19,164

※ 平成 20 年 4 月 1 日付で当社の連結子会社である三共生興不動産(株)を吸収合併したことに対し、この合併に反対する株主 1 名から株式買取請求があり、平成 21 年 4 月 10 日付で当該株主から 2,829 千株 (812 百万円) の自己株式の取得を行ったものであります。

(7) 重要な後発事象

(固定資産の譲渡について)

当社は、平成 21 年 7 月 21 日開催の取締役会において、以下のとおり、固定資産を譲渡することについて決議し同日契約の締結を行い、平成 21 年 7 月 27 日付で譲渡いたしました。

1 譲渡の理由

資産の効率的運用の観点から、保有資産の見直しをすすめるなかで、今般の売却に至ったものであります。

2 譲渡する相手会社の名称

譲渡先は個人であり、契約上の都合により詳細の公表は控えさせていただきます。

なお、当社と当該個人（その近親者、当該個人及びその近親者が過半数所有している会社等並びにその子会社を含む。）との間には、記載すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。

また、当社の関係者及び関係会社と当該個人並びに当該個人の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。

3 譲渡資産の種類、譲渡前の用途

- (1) 譲渡資産の種類 土地及び構築物
(2) 譲渡前の用途 駐車場

4 譲渡の時期

平成 21 年 7 月 21 日 契約締結
平成 21 年 7 月 27 日 物件引渡し

5 譲渡価額 581 百万円